



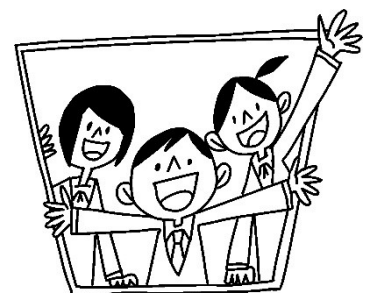
大森第二中学校 保護者通信

令和3年7月20日
大森第二中学校
校長 成清敏治
TEL 3762-6456

1学期は大きな事件や事故がなく、生徒は比較的落ち着いて学校生活を送ることができました。これも保護者の皆さまのご協力があったことです。ありがとうございます。さて、長い夏休みが目前です。今年度は従前通り、7月21日から8月31日まで42日間になります。予定されていたオリンピック競技観戦も中止になりました。暑さも年々厳しさを増している状況ですので、生活リズムはもとより、健康に留意して過ごしていただくようお願いいたします。

2学期に入ると3年生は、1泊2日で修学旅行が予定されています。5月から延期になりましたので、何とか9月は感染状況も少しは落ち着いて、実施できればと切に思います。1年生も9月13日から1泊2日で移動教室が予定されています。菅平で自然を満喫してもらいたいと思います。2年生の職場体験は、新型コロナの影響で事業所の確保が難しく、職業の学習に切り替えて職場体験の代替にすることとしました。合唱コンクールもアプリコでの開催を見送り、本校体育館で実施することにしました。できれば全校参加の行事にしたいと考えていますが、体育館の広さにも限界がありますので、どのような形態で当日実施するかは、行事委員会で考えていきたいと思います。ともあれ、2学期以降も新型コロナの感染状況により、拡大に歯止めがかかっているかどうかで学校行事は影響されます。今後も、日程や内容、実施形態などに変更や延期等がかるかもしれませんが、ご理解のほど、お願いいたします。

話の結びに保護者の方々と共有したいことがあります。先日、『スマホ脳』という本を読みました。現在、ベストセラーにもなっています。スマホが世の中に登場したのが2007年ですから、生徒たちはほぼスマホがない時代を知りません。身近にスマホがあるのが当たり前なわけです。もちろん、便利な面はたくさんあり、使用自体を否定する時代ではありません。ですから、生徒にはリテラシーを育成することを重点にして、学校では教育しています。その本の中で気になる箇所がありました。スマホを使い続けている若い世代は『共感』に欠ける傾向にあるということです。言葉を文字で伝え、会話しているようでも相手の表情は見えない、だから共感性に乏しく、相手の立場がわからない、などがアンケートなどで顕著に見えてきたそうです。生きる上で必要な感性や人情の機微、これは生身の人間同士で対話する中でしか育むことはできません。中学校の多感な時代には、本来発達するべき生理的機能を育む必要があります。いわゆるスマホやゲームの奴隷・中毒のような生き方をすると、相手に共感できず、世の中が殺伐としたものになり、争いごとや身勝手な行動が横行することにつながると言われています。ぜひご家庭でもスマホから少し離れた時間を作っていただき、親子で対話を十分に楽しむひとときをお願いしたいと思います。今後とも、保護者の皆さまと協力して、教育活動の充実に努めてまいりますので、よろしく願います。
(7月10日 保護者会全体会)



※1学期は保護者の皆さまに大変にお世話になりました。2学期以降もよろしく願います。